

## 巻 頭 言

「ものづくり」の原点に一度は足を  
運びましょう。

探していたものがきっと見つかる！

荒川 哲男 (あらかわ てつお)



所属：医学研究科・内科学専攻

専門分野：消化器内科学

趣味：ビーフシチューとお好み焼き

(作る方も食べる方も)、ゴルフ、映画鑑賞

私の医学研究科長としての任務はあと2ヶ月を切りました。4月から理事長兼学長を拝命することになり、責任の重さと同時にやり甲斐を感じています。

さて、工作技術センターは話しに聞いてはいましたが、まだ見たことはありません。このセンターの存在を知らなかった頃、医学部学舎内に、医療器具の試作品が作れるワークスペースと旋盤などの機械があればいいなと思っていました。というのも、2年余り前に、一般財団法人「ものづくり医療コンソーシアム」を立ち上げたからです。

このコンソーシアムは、まいど1号の青木豊彦氏（株式会社アオキ 会長）と「大阪を元気にしよう！」と肝胆相照らしたとき（もちろんビールのジョッキを持ってですが）にできました。大阪の元気は、東大阪だけでも8000社を超える中小企業の元気からです。このコンソーシアムを成功させるためにはサムライ集め、サムライ創りが重要と考えました。現在、51社のサムライ企業、病院23施設、市大医学部21講座、個人会員216名が集まっています。

医工連携セミナーも工学部との間で約1年前から再開し、医工学研究科のサムライが集うのも今年の3月で3回目となります。今回から「ものづくり医療コンソーシアム」の会員も参加することになり、医工匠連携となりました。工作技術センターに足を踏み入れる日も近いと実感します。

サムライの定義はBZM。「ぶれない」「ずれない」「もれない」です。まるでパンパースみたいですが……。決断したことはぶれずにまっすぐ貫く。また、王道から決してずれない。そして秘密は断じて漏れない。